

4つの視点（ビジョン）～将来の納税世代を想う～

Social Akinai 地域が活性ぐ力、地域の稼ぐ力	Machi Promotion 文化体験型の情報発信	Grown Matsusaka 子どもへの「山と心」の教育 自然と育つ「未来の大人」育て	Suzunoya 2.0 教育×経済
<p>市民活動を通じて、松阪市の地域課題を抽出し、ソーシャルビジネスとして経済産業活動や雇用に繋げることで、地域課題を解決しながら稼ぐまちにしていく。</p>	<p>ただの観光ではなく、イベント等での体験型シティープロモーションを通じて、松阪市の歴史・風土や特産物のファン・理解者を獲得し、ダンスやスケートボードをはじめとする特色あるスポーツのクラスタとも歩んでいく。</p>	<p>現代的に管理された子育てと、昔ながらの自然に近い子育ての良いところ取り。 保育・教育機関と第一次産業とのタイアップで自然との距離を縮め、自然環境保全への意識や未来の松阪の人と自然を育てる。</p>	<p>本居宣長の学問と、三井高利の先進的な商いからヒントを得る。義務教育での郷土愛形成、大学の誘致や産学シンクタンクの整備による市内での環境醸成、市内での先進的なベンチャー支援等、教育と経済産業の両分野から活性化を図る。</p>
将来の松阪市（ポジティブな例）			
<p>地域課題が解決又は改善され、より暮らしやすいまちとなり、その都度発生する地域課題への対応力も向上している。また、経済面では各事業者のソーシャルビジネスでのマネタイズや、協賛企業の獲得が容易となっている。</p>	<p>リピーターを含む松阪市のファン・理解者をより多く獲得し、特色あるスポーツのクラスタをはじめとした多くの人々が集う活気あるまちになっている。文化的な側面に誇りを持つ市民が増え、さらに市内外でインフルエンサーとなり、恒常的に活性化する。</p>	<p>第一次産業従事者が他市町に比べ多く、住民も自然環境保全への意識が高いため、自然豊かなまちとしても誇りをもって暮らし、またその価値観を親から子へと受け継いでいく雰囲気がある。</p>	<p>市民が郷土愛を持ち、松阪市をより活性化していこうとする雰囲気がある。また、市内での研究活動や投資活動が増え、ベンチャーが年間数社立ち上がり、その中でも一部の企業が成長し、また投資を行う好循環が生まれている。</p>